

陸別スターライト フェスティバル



開催日: 7月13日(土)

開館: 14時~24時(特別開館)

講演会: 19時~20時20分

(銀河の森天文台 1階展示室)

向井利典 JAXA名誉教授 講演会「地球のしっぽの話」



向井 利典(むかい としふみ)

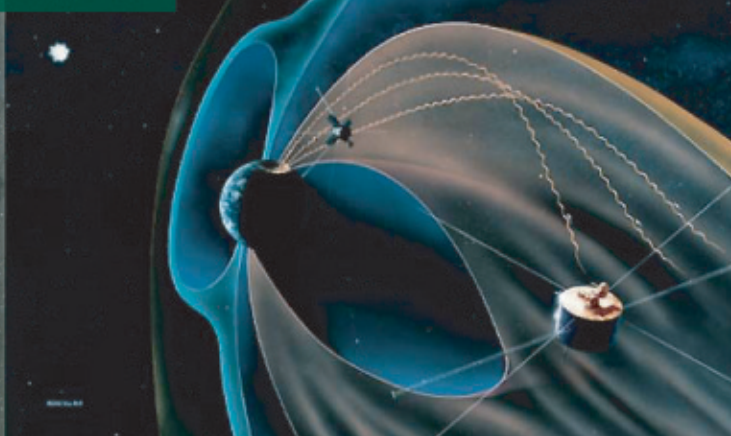
国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA) 名誉教授

1968年京都大学大学院工学研究科電子工学専攻修士課程修了。同年、東京大学宇宙航空研究所(現JAXA宇宙科学研究所)助手、1993年同研究所教授。工学博士。
1990年代までの日本の全ての磁気圏観測衛星、ハレー探査機に搭載されたプラズマ粒子観測の主任研究者を務め、日米共同プロジェクトの磁気圏尾部観測衛星ジオテイルではプロジェクト科学者としてミッション成功に貢献した。また、2005年10月からJAXA技術参与(統括チーフエンジニア)としてJAXAの全プロジェクトを統括。はやぶさ(初号機)プロジェクトにおいては、種々の技術審査を担当するとともに、探査機が



本科学館は、「オーロラ科学館」というニックネームでも呼ばれている様に、日本では最大の「オーロラ解説のためのスペース」を持っています。私が小学生の頃、「オーロラは、太陽から飛んで来る電気を帯びた粒子が地球の磁力に引っ張られて極地方に集められ、そこにある地球の大気に衝突して光るもの」と説明を受けました。「もしこの説明が正しいのなら、オーロラは地球の昼側で強くなるはず」と上出少年は、職員室へクレームをつけにきました。現在の一般向けの科学解説書には、「地球は磁場のしっぽを持っており、オーロラの発生にこのしっぽは重大な役割を果たす」と書かれています。

持ち帰った小惑星イトカワのサンプル科学分析チームを束ね、イトカワの起源と進化に関する多くの貴重な発見を導いた。これらの輝かしい業績に対し、地球電磁気・地球惑星学会より田中館長ならびに長谷川・永田賞、国際的には、NASAよりグループアチーブメント賞、アメリカ地球物理学会フェロー、国際宇宙航空アカデミー会員、ロシア宇宙航行連盟よりガガーリンメダル、アジア太平洋地域システムズエンジニアリング評議会よりパイオニア賞、日本地球惑星科学連合フェロー、等を受賞している。



©JAXA



★大型望遠鏡などによる天体観望会は常時開催いたします。

★20時の回のプラネタリウム上映は中止いたします。

共催: りくべつ宇宙地球科学館、足寄動物化石博物館、名古屋大学宇宙地球環境研究所

協力: とかち航空宇宙産業基地誘致期成会

お問合せ先
〒089-4301 北海道足寄郡陸別町宇遠別
りくべつ宇宙地球科学館(銀河の森天文台)
TEL 0156-27-8100 FAX 0156-27-8102

入館料 昼: 大人300円、小人200円
夜: 大人500円、小人300円
(※18時以降の入館は夜間料金)
休館日 月曜日・火曜日

アクセス